



エコドライブインタビュー

～ 組合員さん独自の取り組み教えてもらいました！ ～

昨年実施したエコドライブアンケートについて、組合員の皆さまご協力くださいまして誠にありがとうございました！
こちらのコーナーでは、アンケートにご回答いただいた一部の組合員さまに
取り組みの内容や効果的な方法などについてインタビューにお応えいただき、ご紹介させていただいております！



株式会社タケダ産業

静岡県富士市(沼津支部)

主な荷物 廃棄物 保有台数 16台 エコドライブ実施期間 約9年



きっかけは些細なことでも
積み重ねることで
大きな実績となる！

▲ 株式会社タケダ産業 取締役 竹田様

“ 経営に役立ち、結果的にはSDGsや
カーボンニュートラルの取り組みへ繋がる ”

Let's Interview!

Q1

株式会社タケダ産業様ではエコアクション21を取得されているんですね！エコドライブの取り組みを詳しくお聞かせいただけますか？

A1

エコアクション21は大手の荷主さんをきっかけにはじめたものです。最初は新しい取り組みに対してドライバーの不満や不信感もあり意識浸透に繋がりにくかったり、どんな取り組みを行えばいいのか混乱したりと大変でしたが、エコアクションは数量計算など細かい計算方法などもわかるようになっていて、データ取りを積み重ねていくことで、現在では燃費の推移などしっかりと把握でき、経営の判断にも役立terようになってきました。

エコアクション21とは

環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。

取り組むことで、環境経営システムの仕組みが作られるため、経費削減など経営面での効果や、社会からの信頼の獲得、ビジネスチャンスにも繋がるというメリットがあります。

Q2

混乱や不満などもありながら、コツコツ積み重ねた結果が、いまでは大きなメリットに繋がったんですね！

A2

はい、毎年の審査は大変ですが、継続することはとても大事だと感じました。
また、エコアクション21へ取り組む以前から、週に一度、エコドライブ活動を含めた「自己評価チェックシート」をドライバーひとりひとりに必ず書いてもらっており、自分への評価とともにヒヤリハットや何か気付いた点などあれば記入してもらっています。書いてもらった情報は文章をまとめ、フィードバックを兼ねて点呼をするスペースへチラシを掲示し、みんなに情報共有をしています。
他にも事故防止活動として、月に一度はドライバーを事務所に呼び、「危険予知トレーニング」をおこなっています。

Q3

チェックシートの内容にはエコドライブ活動のみではなく、「後退時の一呼吸」や「体調管理」なども項目に含まれているんですね！
エコアクションによるエコドライブ活動や、事故防止活動への意識はSDGsやカーボンニュートラルへ繋がりますね。

A3

そうですね。特別意識していたわけではありませんでしたが、こういった取り組みの積み重ねは結果的にSDGsやカーボンニュートラルな未来へ繋がると考えます。
ドライバーへの浸透などとても大変ですが、意識が高く、チェックシートをしっかりと記入してくれるドライバーはやはり事故はとても少ないです。
事故防止やエコドライブは経営においても役立ててることができます。今後も継続していきたいと思っています。

Point 1

エコアクション21の取得により、安全運転、エコドライブの意識がより向上！

Point 2

ドライバーが毎週「自己評価チェックシート」を提出！

自己評価
チェックシート



Special Thanks



どんなことがきっかけであっても、実際に取り組み、また継続していくことが一番大事なことだと思います。取り組み始めることで経営に役立terたり、事故防止につながったりとメリットが多くあったようですね。まずは始めてみることも、チャレンジすることの重要性にも気づかされました！株式会社タケダ産業の竹田取締役、そして関係者の皆さまお忙しい中ご協力いただきありがとうございました！